

故事「管鮑の交わり」確認テスト（史記） | 定期テスト対策 | 誰でも古典塾 解答・解説

問1 吾(われ)始め困(こん)せし時、嘗(かつ)て鮑叔と賈(こ)せり。

(解説)「困」は生活に苦しむこと、「嘗」は「かつて」と読み、過去の経験を表す。「賈」は商売をするの意で「こ(す)」と読む。

問2 (商売の) もうけを分けるとき、(管仲は) 多くを自分の取り分とした。

問3 鮑叔は、私(管仲)を強欲だとは思わなかった。(それは)私が貧しいことを(よく)知っていたからである。

問4 管仲の能力が劣っていたからではなく、時勢に有利な時と不利な時があり、たまたま不利な時機にあたったからだと考えていた。

問5 管仲に才能がないからではなく、よい時機にめぐり合えなかったためだと理解していた。

問6 才能がなく、おろかなこと。

問7 我(われ)を生む者は父母、我を知る者は鮑子(ほうし)なり。

問8 私を生んでくれたのは父母であるが、私(の本当の値打ち)を理解してくれるのは鮑叔(鮑子)である。

問9 「(…する)者は…である」と、あるものごとを取り立てて示し、それが何であることを説明・断定する意味を表す。「A者B也」で「AはBである」と訳す。

問10 自分のことを、表面的な行動だけで判断せず、その事情や本当の値打ちまで深く理解してくれた鮑叔に対する、心からの感謝と深い信頼の気持ち。

問11 商売をすること。

問12 (人のために) はかりごとをする、事を計画する、という意味。

問13 イ

(解説)「逐」は追う・退けるの意で、ここは受身「逐はる」。「君に逐はる」で主君に退けられ官職を追われたこと。「三」は「何度も」の意。

問14 管仲がまだ若く、貧しくて生活に行きづまり苦しんでいた時のこと。(出世する前の不遇な時期を指す。)

問15 鮑叔は、管仲が利益を多く取ったのは欲が深いからではなく、管仲が貧しくて生活に困っていたからだと理解していたから。事情を察し、相手の立場を思いやっていたのである。

問16 (一) 商売の利益を多く取っても、貧しさのためだと考え、強欲だと責めなかった。

(二) はかりごとが失敗して管仲を困らせても、時勢の有利・不利のためだと考え、愚かだと責めなかった。

(三) たびたび仕官に失敗しても、よい時機に恵まれなかったためだと考え、無能だと責めなかった。

問17 利害や損得を超えた、互いに深く理解し合う、きわめて親密な友情のこと。

問18 相手の行動を表面だけで判断せず、その背後の事情や人物の本当の値打ちまで察して理解する、心の広い思いやり深い人物。(友を信じ、深く理解する人物。)

問19 出典(書名)……『史記』(管晏列伝) / 作者……司馬遷(しばせん)

問20 イ(勿頸の交わり)

(解説)「勿頸の交わり」は、相手のためなら首をはねられても悔いないほどの、固い友情の意。「管鮑の交わり」と同じく深い友情を表す。ア「四面楚歌」は周囲がすべて敵であること、ウ「漁夫の利」は両者が争う間に第三者が利益を得ること、エ「蛇足」は余計なつけたしの意。